IB15/120
ドライアイスブラスター
取扱説明書

この度は、ケルヒャー商品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

IB 15/120　2013.10

59652290　10/13

●もくじ

安全上の注意	3～7
仕様	8
名称	9～15
操作パネル	16～17
設定	18～19
準備	20～22
作動	23～25
作業終了	26
トラブルシュート	27～28
メンテナンス	29
ユーザー保証・問い合わせ先	30
修理依頼書	31
補修部品	32

使用上の注意

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容」を示しています。

の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。

の記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。

注意　**施工は自己責任にて行うこと**
万一施工対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合、もしくは正しく操作をせずにケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

⚠ ご使用時の警告

改造禁止

火災、感電、ケガの原因になります。
ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
機能を十分に発揮しない場合が生じ事故のもとになることがあります。

子供には触らせないこと

ケガをする場合があります。

人体に向けて機械を使用しないこと

人体に向けてドライアイス・圧縮空気をかけないでください。
皮膚の裂傷、失明、難聴になる場合があります。

ドライアイスやノズルなど機械の冷えた部分を直接触らないこと

低温ヤケドをする恐れがあります。
必ず防護具の上から触れてください。

危険物のある場所で使用しないこと

火災の原因となります。

稼働中の機械は洗浄しないこと

可動機械に組み込まれているモーターの絶縁が低下している場合
本機が損傷します。

火気のそばに置かないこと

本体が変形し発火の原因になる場合があります。

本体、電源プラグに水をかけないこと

感電する場合があります。

ぬれた手で電源プラグを触らないこと

感電する場合があります。

⚠ ご使用時の警告

周囲の安全に気を配って使用すること

ジェットピストルを握る瞬間反動があります。周囲に気を配りジェットピストルをしっかり握ってください。

汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスクなどの適切な防護具を身に着けること

汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

屋内で使用する場合は強制換気をすること

屋内で使用する場合は換気設備の整った場所で使用すること。
二酸化炭素中毒になる恐れがあります。
二酸化炭素の空気中の濃度が３～５%の場合頭痛・息切れなどの症状、７～ 10%の場合頭痛・吐き気・意識不明に陥る場合があります。
これらの症状が出た場合は直ちに作業を中止し、新鮮な空気を吸ってください。

作業に適した服装、防具を身につけること

事故の回避、ケガの防止のため装着してください。

セーフティーゴーグルを着用すること

ドライアイスペレットが目に入りケガをする恐れがあります。
必ずゴーグルなどの防護具を着用してください。

防音保護具を着用すること

聴覚障害を引き起す恐れがあります。

長袖・長ズボンの防護具を着用すること

ドライアイスペレットが飛散しケガをする場合があります。
皮膚が隠れる作業着を着用してください。

質量の軽い洗浄対象物は固定して洗浄すること

洗浄中に対象物が飛散しケガをする場合があります。

修理はケルヒャーまたはケルヒャー認定技術者が行うこと

個人の修理は事故のもとになる恐れがあります。

ノズルの取り替え時はトリガーガンのレバーを放すこと

ノズルを取り替える場合はトリガーガンのレバーを放し、レバーロックした状態で行ってください。

⚠ 電気に関する警告

電源ケーブルに異常がある場合は使用しないこと

折れ曲がり、プラグの変形、プラグの刃の折れ曲がり、ケーブルのつぶれなどがある場合は使用しないでください。
発火、感電することがあります。

タコあし配線はしないこと

複数の電気製品を同じコンセントで使用した場合
ブレーカーがショートする場合があります。

電源プラグは確実に差し込むこと

コンセントに接続したときに、ゆるみやガタつきがある場合ショートして発火する恐れがあります。

交流１００V 単相電源専用

異種電圧で作動させた場合、火災の原因となります。
ラベルに記載された周波数でご使用ください。
50Hz と 60Hz は共用出来ません。

延長コードは 15 アンペアの規格品を使用すること

電源コードを延長して使う場合は必ず 15A 仕様の延長コード（2スケア・10ｍ）を購入してご使用ください。
規定以下の商品を使用した場合
電源コードやプラグが壊れ、発火の原因になります。
必ず標準のケーブルより太いものを 10ｍまでで使用してください。
10ｍ以上は延長できません。
コードリールは使用できません。

アースをすること

アースがない場合は販売店に依頼し、第３種接地工事をしてください。
水道管、ガス管、電話線、避雷針、稼働中の機械へアースを絶対に接続しないでください。

洗浄対象物に静電気除去用アース線を接続すること

洗浄対象物に静電気が蓄積される場合があります。
洗浄中は対象物に付属のアース線を接続してください。

漏電ブレーカーを設置すること

安全確保のため漏電ブレーカーを設置してください。

⚠ 圧縮空気に関する注意

圧縮空気接続管は２０Ａ以上必要

20A 以下の配管部材は圧力が規定以上でも風量は確保できません。
必ず 20A の配管を専用施工してください。
配管不備により生じた不具合は保証対象外です。

エアーコンプレッサーのメンテナンス管理を行うこと

メンテナンス不備により生じた不具合・損傷は保証対象外です。

エアーコンプレッサーの仕様は厳守すること

規定以下のコンプレッサーを使用した場合
圧力が出なかったり、風量が確保できず正しく動作しません。
エアー供給に問題があり生じた不具合・損傷は保証対象外です。

エアーコンプレッサーのオイルセパレーターの管理をおこなうこと

圧縮空気にオイルが混ざるとミキサー内で瞬間凍結し損傷します。
オイルセパレーター内のフィルターの洗浄・交換を定期的におこなってください。
メンテナンス不備により生じた不具合・損傷は保証対象外です。

エアーコンプレッサーのウォーターセパレーターの管理をおこなうこと

圧縮空気に水が混ざるとミキサー内で瞬間凍結し損傷します。
ウォーターセパレーター内の水を定時的に抜くこと
ウォーターセパレーター内のフィルターの洗浄・交換を行うこと
メンテナンス不備により生じた不具合・損傷は保証対象外です。

圧縮空気接続ホースは純正ホースを使用すること

接続ホースは消耗品です。
外観に亀裂・摩耗が有る場合は使用を中止してください。
ホース端部のカップリングに緩みが無いか毎回確認してください。
メンテナンス不備により生じた不具合・損傷は保証対象外です。

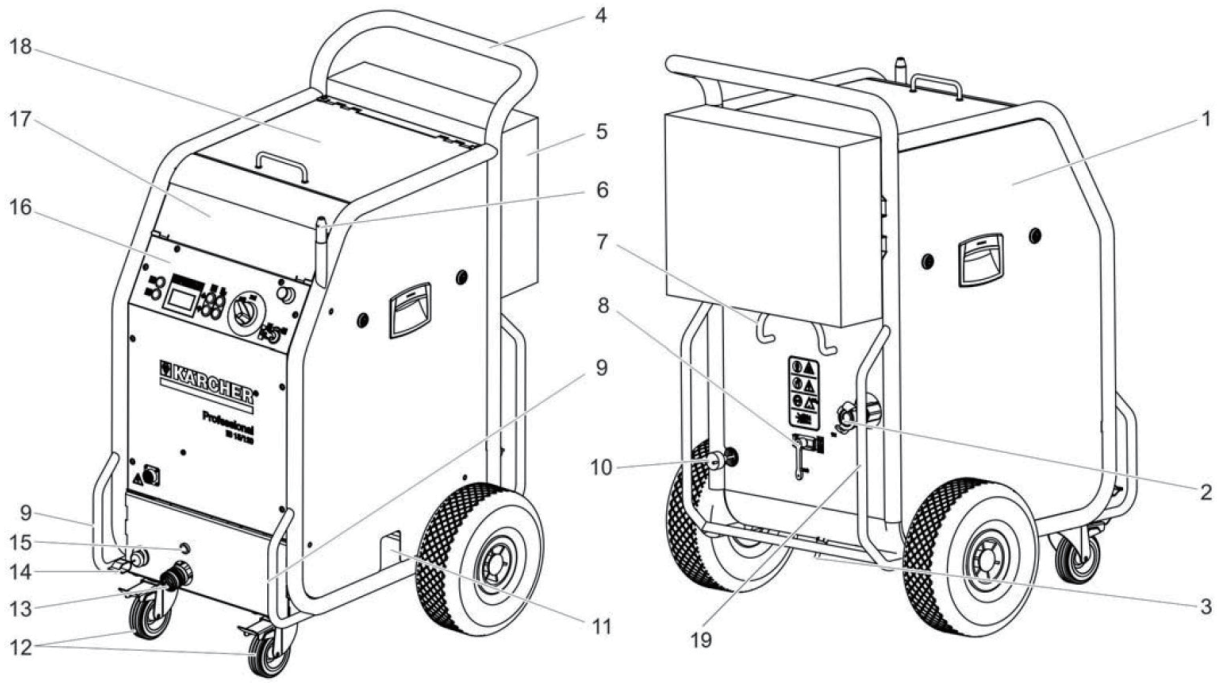
メンテナンスを行う場合は、電源を切ること

感電する恐れがあります。

仕様

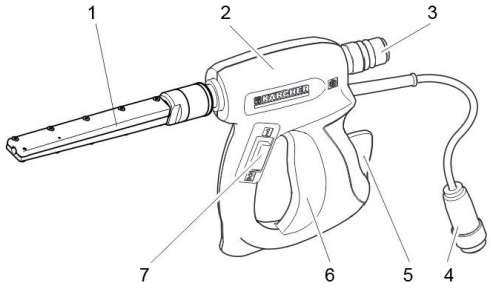
IB 15/120 仕様		
電源	電圧/周波数	100 V/50 Hz
		100 V/60 Hz
	出力	600 W
	電気機械器具の外郭による保護等級	IPX4
	FI　安全装置・スイッチ	0.03 A
	漏洩感知電流	7.5 mA
圧縮空気	接続サイズ	3/4 in
	圧力	0.2～1.6 MPa
	風量	2～12 m^3/min
	品質	ドライ・オイルレス
ドライアイス	サイズ	Max 3 ㎜
	消費量	30～120 kg/ h
本体	ドライアイスタンク容量	40 kg
	幅×奥行×高さ	720×850×1100 ㎜
	質量 ： アクセサリー含む	100 Kg
	質量 ： ドライアイス最大投入時	140 Kg
	質量 ： アクセサリー（ホース・ノズル・工具）	10 Kg
反力・騒音	ガン反力	100 N
	ガン回転反力 ： アングルノズル	40 N
	騒音値　： L_{pA} A特性音圧レベル	114 dB(A)
	騒音値　： L_{wA} A特性パワーレベル	136 dB(A)
	騒音値　： K	5 dB(A)
	振動　： ガン	1.2 m/ s^2
	振動 ： 接続ホース	1.2 m/ s^2

名称



１　サイドカバー
２　圧搾空気接続カップリング
３　後輪
４　ハンドル
５　アクセサリーボックス
６　トリガーホルダー
７　ケーブルホルダー
８　空圧・排水バルブ
９　搬送時　前方固定部位
１０　電源ケーブル
１１　ドライアイス廃棄口（投入量が多すぎる場合・廃棄時）
１２　キャスター
１３　ホース接続カップリング
１４　静電気除去アース（洗浄対象物接続）
１５　コントロールケーブル接続コネクター
１６　操作パネル
１７　アクセサリーケース
１８　タンクカバー
１９　搬送時　後方固定部位

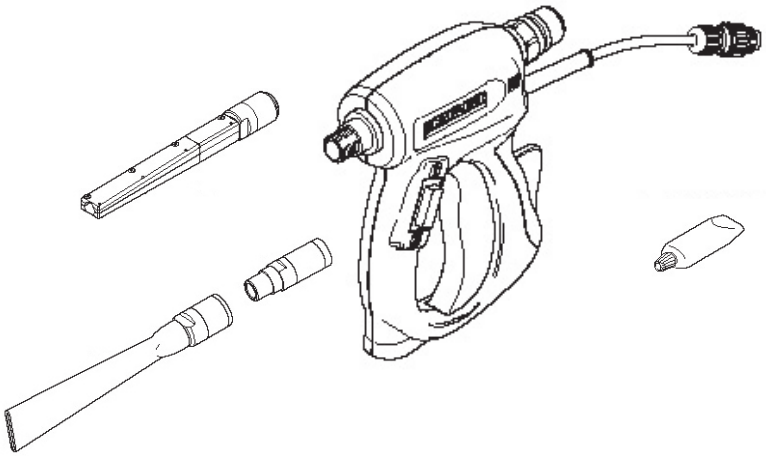
※外観・仕様は開発・改良により予告なく変更する場合があります。



1　ノズル
2　トリガーガン
3　ホース接続口
4　接続コネクター
5　安全レバー
6　トリガー
7　ドライアイス　ON / OFF スイッチ

ドライアイス　ON / OFF スイッチ

1　ドライアイス停止
2　ドライアイス投入



ノズルの取り付け
付属のグリスをネジに塗布してください。

ラウンドジェットノズル
直接取付けてください。

フラットジェットノズル
エアフローを併用してください。

接続ホース・コネクターに変形・損傷が無いか確認してください。
1　接続ホース
2　接続プラグ（本体側）
3　本体側接続コネクター
4　接続プラグ（ガン側）

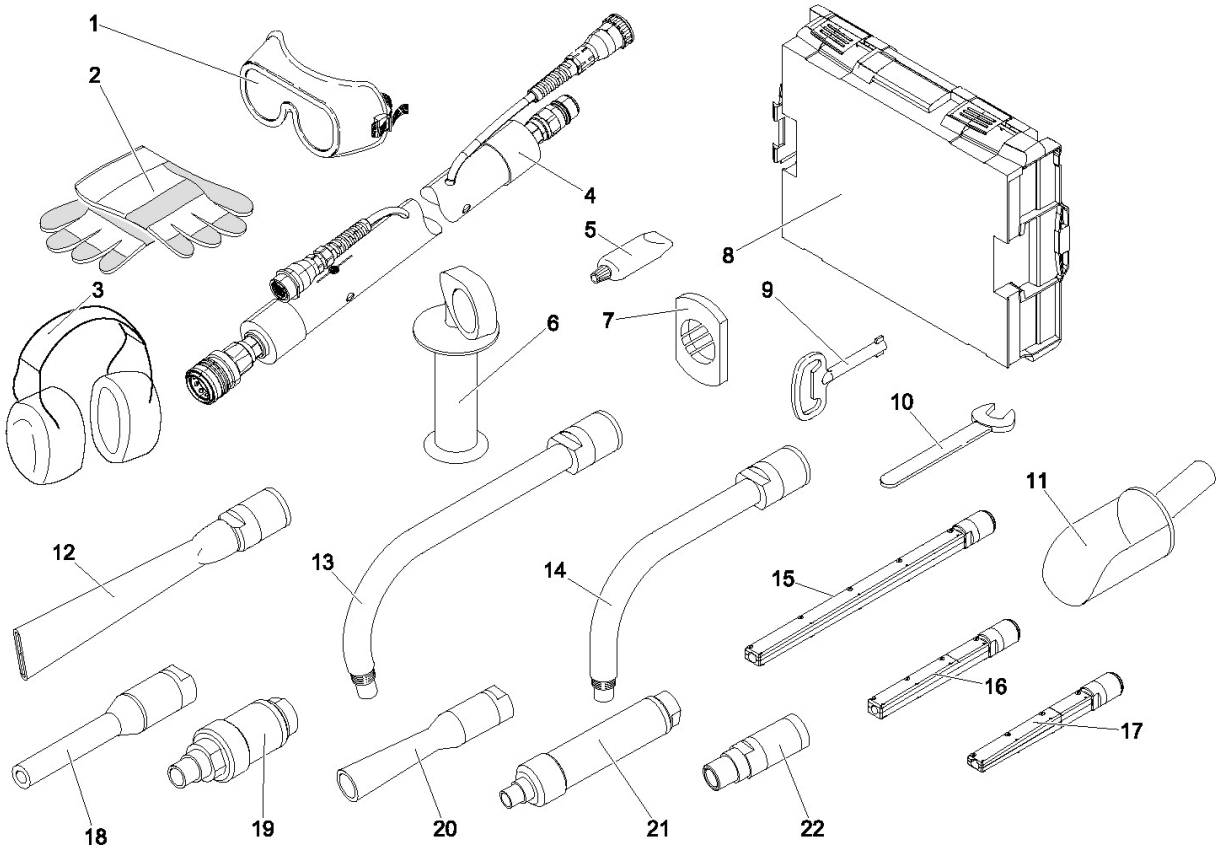
アクセサリーケースの取り外し
ケース両サイドのプレートを押しロックを解除してください。

ケースを開けてください。

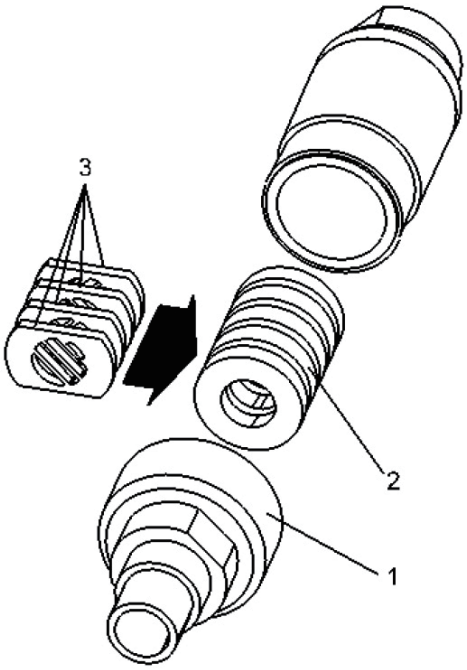
内容物の確認を行ってください。
- ● 27 ㎜スパナ　２本
- ●シリコングリス　１個
- ●ラウンドジェットノズル　１個
- ●フラットジェットノズル　１個
- ●エアフロー Ｌ　１個
- ●サイドパネル取り外し工具　１個
- ●ロック解除キー　１個

別売ノズル・アタッチメントを収納することができます。

ご購入いただいた標準アクセサリーおよび別売アクセサリーをご確認ください。
アクセサリーに損傷・摩耗がある場合は使用を中止してください。



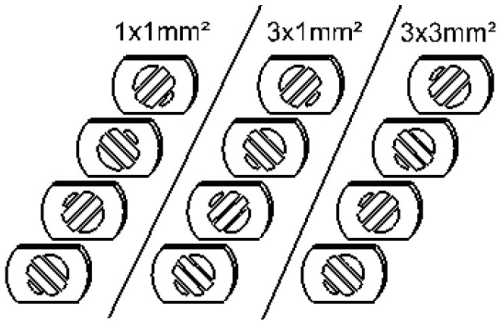
１　ゴーグル
２　手袋
３　耳栓
４　接続ホース（標準装備　８m）
５　グリス（標準装備）
６　ハンドル
７　スクラブプレート
８　アクセサリーボックス（標準装備）
９　キー（標準装備　サイドパネル用）
１０　スパナ（標準装備　27mm　２本）
１１　スコップ
１２　フラットジェットノズル（標準装備）
１３　アングルジェットノズル（105°）
１４　アングルジェットノズル （90°）
１５　ラウンドジェットノズル
　　14×9×16
１６　ラウンドジェットノズル（標準装備）
　　14×7×13
１７　ラウンドジェットノズル
　　14×9×16／245
１８　ラウンドジェットノズル
１９　スクランブラー
２０　ラウンドジェットノズル
２１　延長パイプ
２２　エアフロー L（8㎜　標準装備）



＜スクランブラー：オプション＞
細かな作業を行う場合ご使用ください。
ドライアイスペレットを破砕し吐出します。

ガンとノズルの間に取り付けて使用します。
スクラブプレートの組込設定で粉砕する大きさを調整します。

１　カバー
２　マガジン
３　スクラブプレート

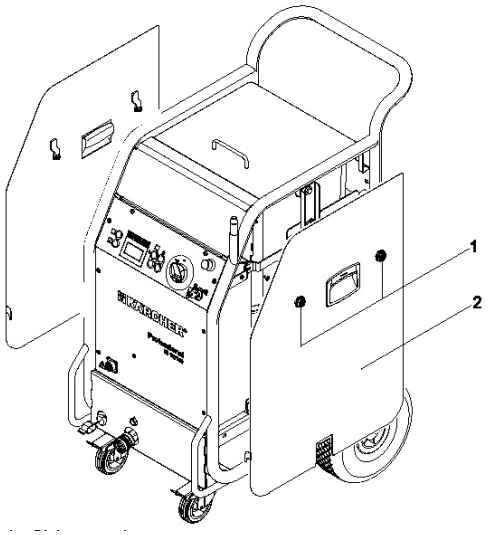


＜分解手順＞
カバーを取り外してください。
マガジンを引き抜いてください。
マガジンに挿入されているスクラブプレートを取り外してください。

スクラブプレートの組み換えで３種類の格子が選べます。

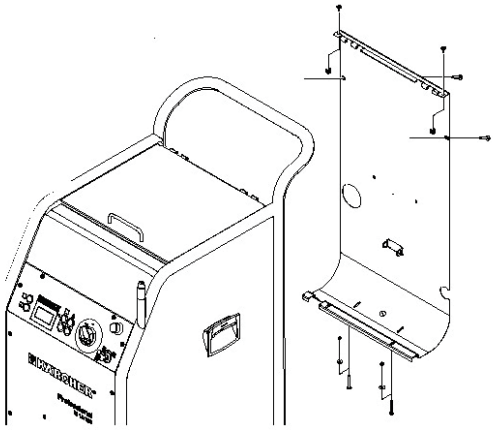
試射を繰り返して最善の組み合わせに調整してください。

＜注意点＞
空気圧・風量が低い状態で使用した場合
ドライアイスペレットを粉砕することができず
詰まりを生じさせる場合があります。
その場合は大きめの格子に組み替えてください。



＜サイドパネルの取り外し＞
２か所のクリップを 90 度回してください。
サイドパネルを持ち上げながら外します。

１　クリップ
２　サイドパネル



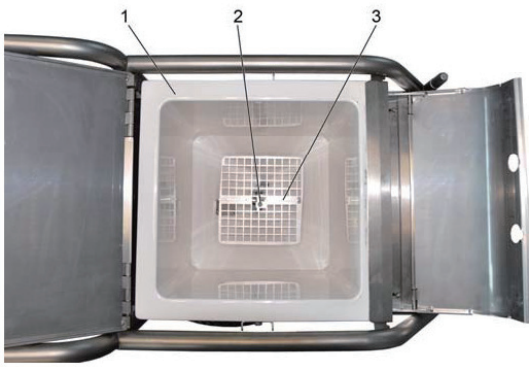
＜後部パネルの取り外し＞
４本のスクリューを取り外してください。
空圧・排水バルブに接続されたホースを取外してください。

＜本体内部＞
１　バイブレーター
２　空圧・排水バルブ
３　ドライアイス廃棄口

１　ツールボックス
２　銘板
３　制御ボックス
４　静電気用アース線リール
５　静電気用アースクランプ
６　ミキサー
７　圧力制御バルブ
８　ウォーターセパレーター
９　ドライアイスタンク
１０　コンテナサポート

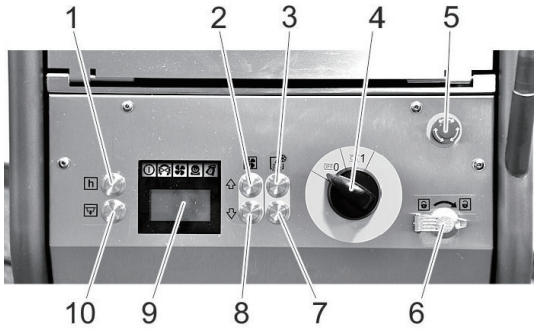
モーターブレーカー
ミキサーに過負荷が生じた場合
ブレーカーが作動し突起が飛び出します。
その際は　突起を確認し飛び出している場合は
押し込んでください。

＜本体後部＞
１　ドライアイスタンク
２　バイブレーター
３　ウォーターセパレーター
４　空圧・排水バルブ

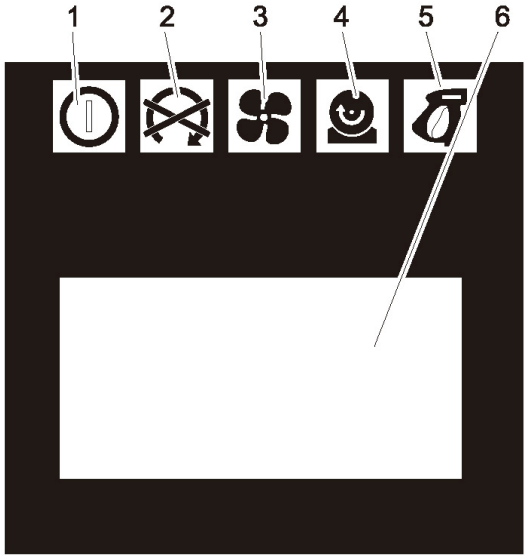


＜ドライアイスタンク内部＞
タンク内部に異物が無いか確認してください。
１　ドライアイスタンク
２　ガード固定スクリュー
３　ガード

操作パネル



1　カウンターキー
　　カウンターリセット
　　作動時間
　　投入量
　　平均投入量
2　増圧スイッチ
3　増量スイッチ
4　メインスイッチ
5　非常停止スイッチ
6　キースイッチ（ロック ⇔ 解除）
7　減量スイッチ
8　減圧スイッチ
9　ディスプレー
10　排出スイッチ



ディスプレーの表示について
1　制御電圧ランプ
　緑　正常
　赤　制御電圧が低すぎます
　黄　ドライアイスタンク全排出機能作動中
2　緊急停止ランプ
　赤　緊急停止ボタン作動中
　緑　緊急停止ボタン解除中
3　圧縮空気ランプ
　緑　正常
　黄　設定吐出圧に到達していません
　赤　圧力が低すぎる（0.15Mpa 未満）
4　ドライアイスランプ
　緑　正常
　赤　異常あり
5　ガンランプ
　緑　正常
　黄　スイッチを入れる際に
　　トリガーが握られています
　赤　ガンが接続されていません
　　または制御系統に不良があります
6　ディスプレー

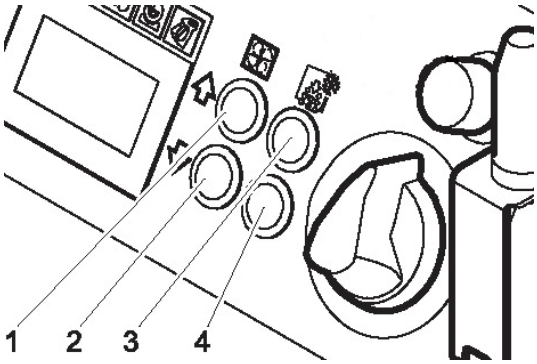
＜非常停止スイッチ＞
スイッチが押されると
緊急停止ランプが点灯し E002 が表示されます。

非常停止スイッチのノブを回すと解除されます。
エラー表示が消え
設定圧力と投入設定が表示されます。

設定

４項目の動作設定を変更することができます。
●ソフトスタート　⇒　設定圧力までの到達時間
●廃棄時間　⇒　残留ドライアイスを廃棄する場合の作動時間
●ライト　⇒　別売り調整機能付きトリガーガン ライト点灯設定
●デモモード　⇒　機能確認

＜設定方法＞
●キースイッチをロック位置に合わせます。
●増圧スイッチと減圧スイッチを同時に押した状態でキースイッチをロック解除へ回します。



増量スイッチと減量スイッチでメニューを選びます。
設定を変更してください。

１　増圧スイッチ　⇒　設定増加
２　減圧スイッチ　⇒　設定減少
３　増量スイッチ　⇒　メニュー　進む
４　減量スイッチ　⇒　メニュー　戻る

設定が修了した後キースイッチをロック位置に回すと設定画面から抜けることができます。

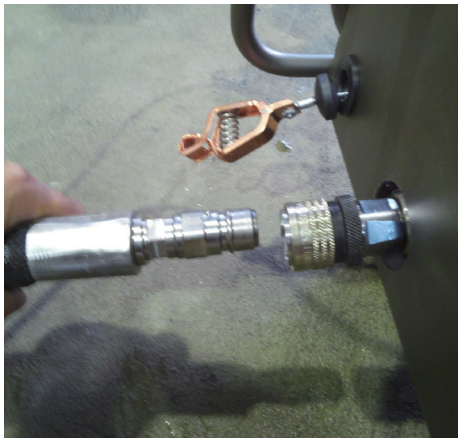
メニュー		調整範囲	説明
Soft start	ソフトスタート	１・２・３・４・５秒	設定圧力上昇までの時間
T_Dump	廃棄時間	１・２・３・４・５分	廃棄ボタンを押した場合の作動時間
Language	単位設定	METRIC IMOPERIA	風量：kg/h　圧力：MPa 風量：lbs　圧力：psi
Beleuchtung	ライトの有無	ON⇔ＯＦＦ	ノズルのライトON/OFF設定
Demo mode	デモモード	ON⇔ＯＦＦ	操作シミュレーション 圧縮空気・ドライアイスは出ない。

＜カウンター機能＞
今までの
　累積運転時間
　ドライアイス使用量を確認することができます。

＜値の確認＞
スイッチを入れてください。
●カウンタースイッチを短く押すと運転時間が
　表示されます。
　t　　リセット後の運転時間
　T　　積算運転時間
●カウンタースイッチをもう一度短く押すと
　ドライアイス使用量が表示されます。
　m　リセット後の使用量
　M　積算使用量
●カウンタースイッチをもう一度短く押すと
　平均ドライアイス消費量が表示されます。
　q　　リセット後の平均使用量
　Q　　積算平均使用量
＜値のリセット＞
●スイッチを入れカウンタースイッチ（h）を
　４秒間押し続けます。
※積算数値はリセットされません。

準備

〈注意〉
- 室内空気の二酸化炭素濃度が危険値に達しないように換気の良い環境で作業を行ってください。
- 洗浄対象物に静電気除去アースを繋いでください。
- 保護具（安全ギア、安全手袋、密着型安全ゴーグル、防音保護具など）を着用します。
- 緊急停止時は直ちに非常停止スイッチを作動してください。
- ガンを握る瞬間反動が生じます
  バランスを崩さないよう安全な立ち位置を確保してください。



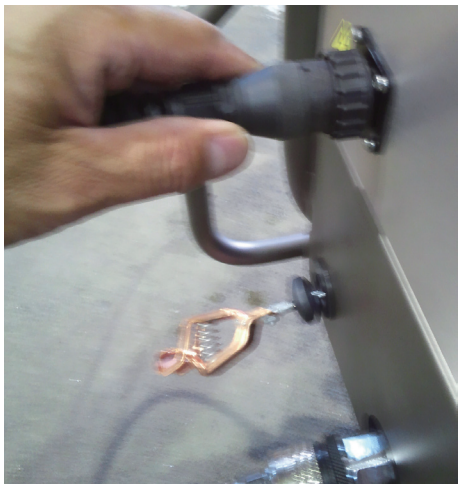
＜接続ホースの取付＞
接続部位の汚れを取り除いてください。

ホース端部をしっかり押し込んでください。

安全作業を行うためロックしてください。
黒いリングをカップリング側に移動しながら回転させてください。

取り外す場合
ロックが解除できるまでカップリングを回します。
カップリングを本体側にスライドしながらホース端部を引き抜いてください。

操作ケーブルコネクターを差し込んでください。



コネクターのナットを回し固定してください。

＜接続が悪い・断線の場合＞
E 005 が表示されます。

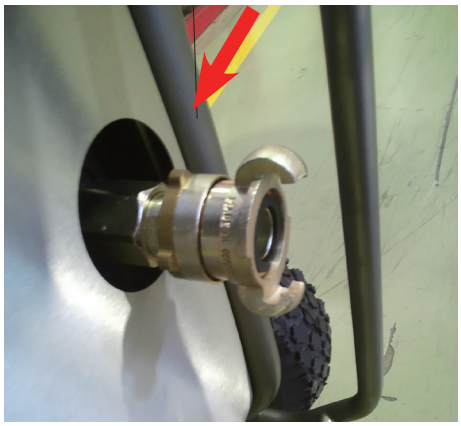
トリガーガンへ操作ケーブルを取り付けてください。

＜接続が悪い・断線の場合＞
E005 もしくは E006 が表示されます。

トリガーガンへ接続ホースを取り付け固定してください。
安全作業を行うためロックしてください。

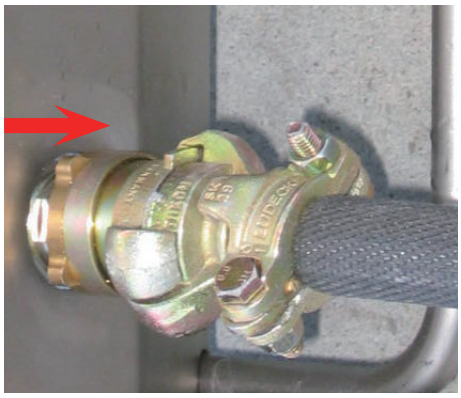
付属のグリスをトリガーガンのネジに塗布してください。
（無塗布の場合　取り外すことができなくなります）

ノズルを取り付けてください。
付属のスパナでしっかり固定してください。



エアホース接続カップリング
ロックナットを時計方向に回しロックを解除してください。
カップリングが飛び出してきます。
この状態でエアホースを取り付けます。

ロックナットで固定した状態
この状態ではエアホースを取り付けることはできません。



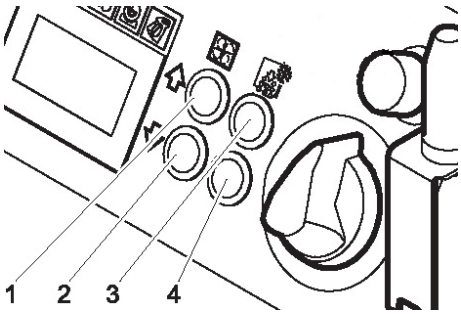
ホースの加締めボルトに緩みの無いことを確認してください。

エアホースを取り付けます。
エアホースを取り付けた後
ロックナットを反時計方向に回しロックしてください。

圧縮空気を供給してください。
漏れが無いことを確認してください。

作業手順

設定
緊急停止ボタンを回して解除してください。
メインスイッチを“|”まで回します。
キースイッチを右側に回し（設定変更状態）てください。



圧縮空気圧力を調節（増圧／減圧）してください。
＊圧力を強くするほど洗浄効果が高くなります。

ドライアイス投入量を調整（増量 / 減量）してください。

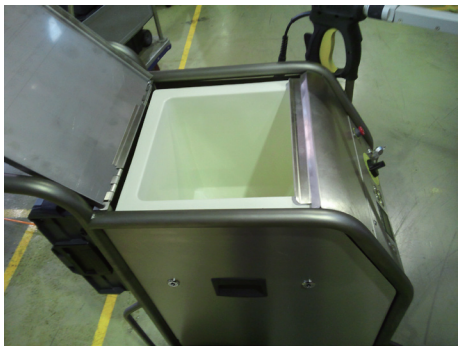
キーをロック位置に合わせると設定が固定され調整できなくなります。

1　増圧スイッチ
2　減圧スイッチ
3　増量スイッチ
4　減量スイッチ

ミキサーを停止させてください。
　トリガーガンのスイッチ＜１：停止＞を押す。

内部結露水・ゴミの排出をおこなってください
　トリガーガンの安全ノブを手のひらで押しながらトリガーを握り圧搾空気を約 1 分間空撃ちする。

コンプレッサーの能力を確認してください。
　増圧スイッチを押しランプがグリーンから赤に変わる圧力を確認する。
　使用圧力はグリーンランプ点灯範囲になります。
　赤ランプが点灯する圧力で作動させても圧力は上がりません。



ドライアイスの投入

ドライアイスタンクカバーを開けます。
タンク中に異物や復水がないか確認してください。

ドライアイス投入量を
最低設定 30Kg/h に合わせてください。

ドライアイスタンクの冷却
圧力設定をコンプレッサーの容量まで上げてください。

ドライアイスペレットスコップ１杯をタンクに投入し
カバーを閉じてください。

約１分間放置しタンク内部を冷却してください。

ドライアイス投入量を 30Kg/h に合わせてください。
トリガーガンのスイッチを１に合わせてください。

１　ドライアイス停止
２　ドライアイス投入

安全ノブを手のひらで押しながらトリガーを握ってくだ
さい。
ドライアイスを吐出させホース、トリガーガンを冷却し
てください。（約１分間）

タンクへドライアイスペレットを投入し洗浄作業を
行ってください。
洗浄対象物との間に静電気が発生します。
　静電気除去アースを対象物に接続してください。
投入量は徐々に増加させてください。
圧搾空気の圧力と風量のバランスにより投入量は決定さ
れます。
むやみに増加させた場合
詰まり・ドライアイス廃棄口からのペレット廃棄が生じます。

コンプレッサーが小さい場合
一気に空気が排出され Low Pressure と表示され
赤ランプが点灯し停止します。
コンプレッサーの交換が必要です。

作業を中断する場合
トリガーガンのトリガーを放してください。
トリガーガンを本体のホルダーに差し込んでおくことができます。

20 分以上作業を中断しないこと。
ドライアイスタンクのドライアイスペレットを全て廃棄してください。
全て廃棄した後　ペレット投入モードで１分間空撃ちし内部結露を飛ばしてください。

ウォーターセパレーターの水抜き
圧縮空気はウォーターセパレーターで水分が分離されます。

ウォーターセパレーターにたまった復水は作業中に定期的に排水をおこなってください。

ゆっくり空圧・排水バルブを開け、排水してください。
＜定期的（約１５分毎）に排水＞
排水後閉めてください。

＜注意＞
復水を排出せずに使用を続けた場合
ウォーターセパレーターの復水がミキサーへ流れ込み瞬間凍結し損傷します。

作業終了

圧縮空気のバルブを閉めてください。
ウォーターセパレーターの空圧・排水バルブを開け、排水してください。
ドライアイスタンクの残留ドライアイスを全排出キーを押しドライアイスタンクを空にしてください。

●設定時間が経過すると停止します。
ドライアイスが残っている場合は再度全排出キーを押してください。
スイッチを切ってください。
圧縮空気接続ホースを取り外してください。
電源を取り外してください。

＜搬送する場合＞
本体を搬送する際はシッカリと固定してください。

トラブルシュート

エラーコードが表示されるエラー

表示	インジケーターランプ	原因	対策
E001	制御電圧ランプ 赤く点灯	電圧が低い A1 X1:1+2	スイッチをOFFにしもう一度ONにしてください。 電源ケーブルを確認してください。 コンセントを確認してください。
E002	緊急停止ランプ 赤く点灯	非常停止スイッチ 作動 A1 X2:3+4	非常停止スイッチを解除してください。 非常停止スイッチを交換してください。
E003	圧縮空気ランプ 赤く点灯	圧力が低い A1 X2:3+4	圧力を上げてください。 スイッチを切り放置した後、再度スイッチを 入れなおしてください。
E004	投入ランプ 赤く点灯	ミキサーに異物混入 A1 X6:2	スイッチを切り、少し放置した後、再度スイッチを 入れなおしてください。 復帰しない場合はサービスに連絡してください。
E005	ガンランプ 赤く点灯	制御コネクターの 接続がわるい A1 X7:3	制御系統のコネクターを接続しなおす。 制御ケーブルを確認してください。 ガン内部のマイクロスイッチを確認してください。
E006	ガンランプ 赤く点灯	ガンまたはコントロ ールケーブルのショート A1 X7:3+4	コントロールケーブルを交換してください。
E007	圧縮空気ランプ 赤く点灯	空圧調整バルブの異常 A1 X2:1	空圧調整バルブを確認してください。 空圧を確認してください。
E008	ガンランプ 赤く点灯	スイッチを入れる際に ガンのレバーを握っていた A1 X7:4	トリガーをはなした状態でスイッチを入れなおして ください。 コントロールケーブルを確認してください。

エラーコードが表示されないエラー

状況	原因	対策
トリガーを引くが圧縮空気が出ない	空圧があまりにも低すぎる 圧縮空気ランプは オレンジ点灯	空気圧を確認してください。
	設定圧力が低すぎる	空気圧を高く設定してください。
	電源が来ていない	電源を確認してください。 電源ランプはグリーンが点灯しているか 確認してください。
	非常停止スイッチが作動 E002：を確認	非常停止スイッチを解除してください。 電源ランプはグリーンが点灯しているか 確認してください。
	制御コネクターの接続がわるい	制御コネクターの接続を確認してください。
	制御ケーブルが破損 E006・E008が起動	接続ホースを交換してください。
空圧が弱い	空圧があまりにも低すぎる	空気圧を高く設定してください。
	コンプレッサー出力が小さい 圧縮空気ランプは オレンジ点灯	コンプレッサーを確認してください。
	ウォーターセパレーターの フィルター詰まり	フィルターを交換してください。
	ノズル・ガンが詰まっている	常温で溶かしてください。
ドライアイスが出ない	投入スイッチが切られた	投入スイッチを入れてください。
	ドライアイスが空になっている	ドライアイスを投入してください。
	ドライアイスが固まっている	ドライアイスを新しいものと交換してください。
	バイブレーターが動いていない	電源を確認してください。 なおらない場合は　サービスフロントへご依頼 ください。
	ミキサーが過負荷	設定を下げてください。
	圧縮空気がタンクに逆流	ミキサーの修理が必要です。 サービスフロントへご依頼ください。
	ミキサーディスク損傷	ミキサーの修理が必要です。 サービスフロントへご依頼ください。

メンテナンス

頻度	部位	確認項目	手順
毎回	接続ホース	折れ・損傷・劣化	損傷・劣化がある場合は交換してください。
	電源コード	損傷・劣化	損傷・劣化がある場合は交換してください。
100作業時間毎	カップリング	損傷・劣化	損傷・漏れがある場合は交換してください。
	ミキサー	破損・エア漏れ	エア漏れが有る場合はミキサーの オーバーホールが必要です。
	アクセサリー	損傷・劣化	交換してください。
1年もしくは 500作業時間毎	ミキサー		損傷・劣化が無くても交換してください。
2年毎	接続ホース		損傷・劣化が無くても交換してください。

ユーザー保証・問い合わせ先

ユーザー登録をされた場合のみ保証が適用されます。
ユーザー登録方法および保証規定は保証書をご確認ください。

修理・製品に関するお問い合わせは
TEL：022-344-3164 又は
022-344-3146 へお問い合わせください。

ケルヒャー ジャパン株式会社
本社： 宮城県黒川郡大和町松坂平３丁目２番 TEL (022)344-3140

修理依頼書

修理を依頼する際は、この「修理依頼書」に故障状況などをご記入いただき、機械に添付してください。
正確な修理を迅速に遂行するために非常に大切な情報となりますので、皆様のご協力をお願い致します。

修理依頼日：　　年　　月　　日

修理依頼書

機種名：IB15/120　シリアルナンバー：＿＿＿＿＿＿

※シリアルナンバーは機械の外側に貼られている銀色のラベルに記載されています。

ご使用者様　氏名　　ご連絡先　TEL：

FAX：

1）購入日　　年　　月　　2）購入先　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2）使用頻度　※当てはまる番号に印をつけ、日数を記入してください。

①毎日　②週＿＿日　③月＿＿日　④年＿＿日

3）１回の作業時間　　＿＿＿時間

4）延長コードの使用　ない　/　ある　＿＿＿m

5）作業場所　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

6）返送先住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※状況をなるべく詳しく説明してください。

補修部品

※仕様変更により商品の形状と図が一致しない場合があります。